

防災力を高めよう!〈防災迷路の答え合わせ〉

Q.1 大雨のなか避難するときに、
履くのはどっち?

答え. **B 運動ぐつ**

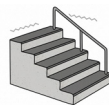
長ぐつはぬげやすく、転んでしまうおそれがあります。また長ぐつに水が入ると重くなります。大雨の時には急に水かさが高くなる場合もあるので、長ぐつよりも歩きやすい運動ぐつなどで避難しましょう。



Q.2 地震が発生したあと、
避難するときに使うのはどっち?

答え. **A 階段**

エレベーターは閉じ込められてしまうおそれがあるため、動いていても使わないようにしましょう。



Q.3 地震がおこった時に
どっちの避難方法を優先する?

答え. **B 歩く**

車で避難すると渋滞になり、動けなくなったり消防車や救急車などのじゃまになったりするので、できるだけ歩いて避難しましょう。ただし、けが人など歩いて避難することが難しい場合をのぞきます。



Q.5 災害がおこったときに、より正しい防災情報を知るには?

答え. **A 役場や気象台などからの公式情報を確認する**



災害がおこったときにはSNSなどでたくさんの情報があふれ、まちがった情報やうわさが広がることがあります。役場や気象台などの公的な機関からの情報を確認して、正しい状況を判断するようにしましょう。



～高校生活動推進委員からのメッセージ～

「10年目の鳥取。私たちは、あの時より強くなれる。」

鳥取県中部地震から10年。あのときに感じた恐怖や不安、地域の強さや温かさを、私たちは後世につないでいかなくってはなりません。小さな鳥取県だからこそ支え合いの力はとても大きく、人と人とのつながりが未来を守る力になります。

この大会を通じて、改めて防災を日常のものとして捉え、日々の備えの大切さや防災意識を高めることはもちろん、人と人とのつながりの大切さを伝え、安心して暮らせる未来につなげていきたいです。



ぼうさいこくたい 2026 in 鳥取
高校生活動推進委員会

問い合わせ先／鳥取県教育委員会事務局体育保健課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目 271 番地
TEL 0857-26-7526

防災情報
リンク▶

鳥取県防災情報
ポータル



キケル
(危険度分布)



守れる未来を、みんなで。

第11回防災推進国民大会



ぼうさいこくたい 2026 in 鳥取



日時 令和8年 10月17日(土)・18日(日)

会場 エスパック未来中心・鳥取県立美術館 等



高校生による楽しい企画が盛りだくさん♪

防災ミッションに挑戦!



煙の中から
脱出ゲーム



防災グッズを
選ぼう

防災学習パネル



会場で
待ってるよ

鳥取県併催イベント

日本最大級! 防災のテーマパーク

見て・食べて・体験する! 防災テーマパークの4エリア

ステージエリア

ゲストステージや地域ステージで、会場を楽しく盛り上げます!



防災訓練・体験エリア

親子で挑戦! たくさんの体験をめぐって、防災ミッションをクリアしよう!



詳しくは
ホーム
ページを
チェック▶



防災産業展示エリア

車両展示や防災企業ブースで、災害時に役立つ技術を体験!



食パラダイス鳥取県エリア

鳥取グルメが大集合! おいしく食べて、会場を楽しもう!



さいがい はっせい
災害発生!



ぼうさい めいろ ちょうせん
防災迷路に挑戦!

鳥取県の過去の災害

災害の歴史を知り、これからの備えにつなげよう！



①平成30年7月豪雨 (2018年)

2018年7月に台風7号と梅雨の雨が重なり、大雨になりました。大雨特別警報が出され、智頭町では約1週間で約500ミリもの雨が降り、これは平年であれば数か月かけて降る雨量になります。そのため、鳥取県内では床上浸水や床下浸水、がけ崩れなどの土砂災害等の被害が生じました。

主な被害

- ・床上浸水……12棟
- ・床下浸水……57棟



▲国道373号(智頭町福原) 護岸崩壊

②鳥取県中部地震 (2016年)

2016年10月に鳥取県中部で地震が発生し、震度6弱を倉吉市、湯梨浜町、北栄町で観測しました。幸い亡くなった人はいませんでしたが、白壁土蔵群等の文化財にも被害が生じました。また、中部5市町を中心に被害が生じた多くの家屋の屋根は雨が入らないようにブルーシートで覆われました。

主な被害

- ・重傷者 ……… 8名
- ・家屋全半壊… 330棟



▲白壁土蔵赤瓦3号館

※出典：平成28年10月21日鳥取県中部地震記録誌

③鳥取県西部地震 (2000年)

2000年10月に鳥取県西部で地震が発生し、日野町、境港市で震度6強を観測したほか、西日本を中心に広い範囲で揺れを観測しました。幸い亡くなった人はいませんが、多くの家屋が全半壊となったほか、電気や水道が止まったり、斜面が崩れて道路が通行止めになったりするなど大きな被害が生じました。

主な被害

- ・重傷者……… 31名
- ・家屋全半壊 ………2,888棟



▲崩落した岩石によりふさがれた県道日野溝口線

※出典：平成12年鳥取県西部地震の記録

④鳥取地震 (1943年)

1943年9月に鳥取地震が発生し、鳥取市で震度6を観測しました。たくさんの家が倒れ、道路や線路も大きな被害が生じました。また、火災も発生して県内で299戸が全半焼し、木造家屋の大半が壊れるなど、鳥取市の中心部は壊滅的な被害を受け、古い町並みの大半が失われました。

主な被害

- ・死者・行方不明 ……… 1,210名
- ・家屋全半壊 ………27,405戸



▲倒壊した家屋

※出典：鳥取地震 被害写真集(気象庁)



見えない危機に“見える備えを”

災害は、いつ起こるか分からないからこそ日々の備えが必要です！

おおやかみじろうと一緒に考えよう！



防災迷路に挑戦

災害が起きたとき、あなたはどの行動する？
迷路を進みながら、正しい行動を選んでゴールを目指そう！

A の道 B の道 正しい道を進むと道がつながるよ

スタート

Q.1 大雨のなか避難するときに、履くのはどっち？

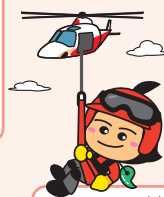
- A 長ぐつ
- B 運動ぐつ



Q.3 地震がおこったときに、どっちの避難方法を優先する？

- A 車
- B 歩く

危ない！



Q.5 災害がおこったときに、より正しい防災情報を知るには？

- A 役場や気象台などからの公式情報を確認する
- B SNSで流れている情報だけを確認する

危ない！



Q.2 地震が発生したあと、避難するときに使うのはどっち？

- A 階段
- B エレベーター



危ない！

Q.4 大雨のときにどの道を使って避難する？

- A 近道だがあふれそうな川のそばを通る道
- B 遠回りだが事前に確認した安全な道

危ない！

避難所
ゴール

